



看護補助者のためのケア業務レベルアップ講座 開催のご案内

日本は超高齢社会に突入し、2025年にはいよいよ団塊の世代800万人が後期高齢者となります。こういった社会情勢を鑑みれば、介護職員が重要な役割を果たしているのは、介護の現場だけでないことは明らかです。医療現場においても、高度急性期医療から慢性期医療に至るまで患者の多くは高齢者であり、これからの入院医療において適切なサービスを提供するためには介護職員の大きな力が必要です。

令和6年度診療報酬改定では、「看護補助体制充実加算」に、直接患者に対し療養生活上の世話をする看護補助者（介護職員）を一定数配置する評価が新設されたことは新たな一歩です。介護職員の皆様には、介護専門職としてのキャリアをこれからさらに積み重ね、ご活躍いただきたいと思っております。是非、本研修に多くの皆様ご参加くださいますようお願い致します。

プログラム（予定）

(1日目) 令和6年7月9日 (火)	
9:20~9:30	開講挨拶
9:30~10:30	これからの日本の医療と介護 講師：橋本康子（日本慢性期医療協会 会長）
10:40~11:40	高齢者の身体的特性とケアの基本的考え方 講師：井川誠一郎（平成医療福祉グループ 診療本部長）
11:40~12:20	昼食休憩
12:20~13:20	認知症の原因疾患と身体拘束が認知症に与える影響 講師：井口朋子（富家病院 看護部長）
13:30~14:30	医療安全対応 講師：矢野諭（平成扇病院 院長）
14:50~15:50	感染症ケアの実際 講師：正木路加（千里リハビリテーション病院 感染管理室 室長）
16:00~17:00	口腔ケアの実際 講師：阪口英夫（陵北病院 副院長）
(2日目) 令和6年7月10日 (水)	
9:30~10:30	移動介助の実際と転倒・転落のリスクマネジメント 講師：山本亮（千里リハビリテーション病院 訪問リハビリテーション室 室長）
10:40~11:40	排泄ケア・皮膚ケアの実際 講師：金江春花（永生病院 看護師長）
11:40~12:20	昼食休憩
12:20~13:20	食事、清潔、入浴等の日常ケア 講師：安川早小女（永生病院 看護師長）
13:30~14:30	患者・家族等とのコミュニケーション 講師：小林由美子（平成医療福祉グループ看護部 介護部門長）
14:50~16:00	症例提示による演習 看護補助者としての業務のあり方（1） 講師：富家隆樹（日本慢性期医療協会研修委員会 委員長）
16:10~17:30	症例提示による演習 看護補助者としての業務のあり方（2） 講師：富家隆樹（日本慢性期医療協会研修委員会 委員長）
17:30~17:40	閉講にあたって